

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2007年11月29日 No.17

緊急100万人
署名行動

広島 3万目標を超過達成！引き続き奮闘

広島県原水協も加わる「集団訴訟を支援する会」は11月28日、「緊急100万署名」の県内目標3万を超過達成し3万1千筆に達しました。10月19日の「原爆症認定制度見直し年内決着をめざす緊急集会」(支援する会主催)で県内目標3万筆を12月3日までにやりきろうと意思統一。以後、広島県原水協の代表(2名)が署名用紙を持って団体要請にまわりました。当初は、「現場では何種類も署名があり、余り期待しないでほしい」などの意見も多数ありました。これらを変える転機となったのは、10月25日に「支援する会」「原告団」「被団協(金子)」「被団協(坪井)」の代表連名の訴えを出したところからでした。運動推進事務局も結成し毎週月曜日に事務局会議をひらいてきました。



東京・千葉・埼玉被爆者含め50人で緊急100万署名行動24日、東京・新宿西口)

以後、署名集約の団体まわり(市内)を毎週火曜日にいっせいにこない、「推進ニュース」なども発行してきました。「年内決着をめざす」「被爆者の最後のたたかい」「被爆地広島の取り組みが全国を励ます」などの訴えが一気に広がっていき、建交労などは構成員・家族署名などで短期間に1000近い署名を集めました。原告団や被爆者の連日連夜の奮闘が大きく、一人で100人から200人集める状況が生まれ、全体を大きく励ましました。また、秋の様々なとりくみがおこなわれる条件を生かし、講演会や秋祭りなどに出かけて直接署名を集め、毎週日曜日には元安橋で署名行動をおこなってきました。12月1日に山口県岩国市で行われる「国の仕打ちに怒りの1万人行動 in 錦帯橋」にも出かけて署名を集めようとよびかけがなされるなど、広島ではこれらの行動をさらに強め、4日には16人の上京団を送り、中央行動を大きく成功させようと、引き続き奮闘中です。

12・4行動に全国・団体から参加を！

厚生労働省を取り巻く100万羽折り鶴の輪行動

12月4日(火) 11:45~ 日比谷公園霞門集合

集団訴訟に勝利し核のない世界を求める夕べ(九段会館)

12月4日(火) 18:00-20:00 規模1100人

各党決意表明、集団訴訟原告の訴え

ミニ記念講演 安斎育郎さん、青年リレートーク

コンサート 横井久美子さん、ナターシャ・グジーさん

政府・国会要請と署名提出 12月5日(水)

12・4行動へのメッセージ
被爆者を励ます行動へ参加を！

小林秀一(世界青年のつどい2007委員長)

4月の座り込みから8ヶ月がたとうとしています。被爆者のみなさんは再び厚労省へ集結します。被爆者に残された時間はあとわずかです。被爆者のみなさんには、国に対して今こそ決着をつけようとしています。寒いなかでの行動ですが被爆者のみなさんはがんばっています。青年のみなさんは是非この行動に参加してください。そして被爆者を励ましてください。私たちが青年は被爆者たちの命をかけたたたかいを見届けましょ